

作成日 2018年5月29日

改訂日 2018年6月1日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品等の名称（製品名）

レディーミクストコンクリート

普通コンクリート 軽量コンクリート

舗装コンクリート 高強度コンクリート

モルタル

会社名 株式会社 フジックスコンクリート

住所 愛知県弥富市東末広九丁目38番地の1

担当部門 試験課

電話番号 0567-68-3787

FAX番号 0567-68-3718

#### 推奨用途及び使用上の制限

建築及び土木構造物等の材料として用いられる。

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康有害性：	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1

#### GHSラベル表示

絵表示：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷

注意書き：

[安全対策]

H264 取扱い後は手などをよく洗うこと。

P280 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

[応急措置]

P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。





**眼の保護具：**眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。  
**皮膚及び身体の保護具：**必要に応じて保護長靴、保護衣等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	固体（擬固体、流動体）
色：	灰色（若干違う場合がある）
臭い：	データなし
融点／凝固点：	データなし ←記載省略可
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	データなし
可燃性：	不燃性である
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	該当しない
引火点：	該当しない
自然発火点：	該当しない
分解温度：	データなし
pH：	12~13
動粘性率：	該当しない
溶解度：	データなし
n-オクタノール／水分配係数（log値）：	該当しない
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	1.5~2.4g/cm <sup>3</sup> (20°C)
相対ガス密度：	該当しない
粒子特性：	0~40mm

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	時間とともに安定固化する。
化学的安定性：	時間とともに安定固化する。
危険有害反応可能性：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩と反応する。 強アルカリ性を呈する。
避けるべき条件：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩との接触。
混触危険物質：	酸、アルミニウム、アンモニウム塩と反応する。
危険有害な分解生成物：	危険有害な分解生成物は含まない。

## 11. 有害性情報

急性毒性：	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	強アルカリ性（pH12~13）を呈し、皮膚に対し刺激性があり、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：	強アルカリ性（pH12~13）を呈し、眼刺激性があり、眼の角膜に炎症を起こす可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過



漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。

#### 国内規制がある場合の規制情報

- 海上規制情報： 船舶安全法に従う。  
航空規制情報： 航空法に従う。  
陸上規制情報： 消防法、道交法に従う。

#### 15. 適用法令

- 労働安全衛生法： 第57条の2 通知対象物；マンガン及びその無機化合物  
化学物質排出把握管理促進法： 第一種、第二種指定化学物質に該当しない。  
毒物及び劇物取締法： 該当しない  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規制

#### 16. その他の情報

本データシートは、日本産業規格 JIS Z 7253 : 2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは、必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

- 海上規制情報： 船舶安全法に従う。  
航空規制情報： 航空法に従う。  
陸上規制情報： 消防法、道交法に従う。  
特別安全対策： 漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。